大判プリント

入稿データマニュアル

大判プリントの印刷の際は、普段使うインクジェットやレーザープリンタと同様のデータの作り方では正し く印刷されないものがあります。まずはこのマニュアルの P.03「入稿までの流れ」に沿って原稿を作成し、 わからない部分は対応したページの解説を参考にしましょう。 索引

_	はじめに							
	•	用紙サイズの確認		P.02				
	•	入稿用のメディア		P.02				
~	手順							
	•	入稿までの流れ		P.03				
•	素材	才の加工(Photoshop)						
	•	画像解像度の設定		P.04				
	•	レイヤーの統合(透明部分がない場合)		P.05				
	•	カラーモードの変更		P.06				
	•	保存の際の設定		P.06				
_	レー	イアウト(Illustrator)						
	>	画像の配置		P.07				
	建築	A Septiment of the Property o						
	•	PDF 形式で取り出す(Macintosh の場合)	P.08				
		PDF 形式で取り出す(Windows の場合)	P.09				
		Macintosh「取り出し」pdf と Windows	プリント pdf の比較 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	P.10				
_	仕_	上げ(Illustrator)						
		トリムマークの作成		P.11				
	•	塗り足し		P.12				
	•	アートボードのサイズ		P.12				
	•	アウトライン化		P.13				
	•	線幅について		P.13				
~	× 7	ディアセンターでの注意事項						
		データ保存の注意点		P.14				

▶ 用紙サイズの確認

▲ メデイアセンターの大判用紙のサイズは B2・B1・B0 の三種類があり、それぞれ料金が異なります。 下記の用紙サイズ一覧を参考にしてください。

A 判と B 判								
A 判		B判						
A0	841mm × 1189mm	В0	1030mm × 1456mm					
A1	594mm × 841mm	B1	728mm × 1030mm					
A2	420mm × 594mm	B2	515mm × 728mm					
A3	297mm × 420mm	B3	364mm × 515mm					
A4	210mm × 297mm	B4	257mm × 364mm					
A5	148mm × 210mm	B5	182mm × 257mm					
A6	105mm × 148mm	B6	128mm × 182mm					
A7	74mm × 105mm	B7	91mm × 128mm					
A8	52mm × 74mm	B8	64mm × 91mm					
A9	37mm × 52mm	B9	45mm × 64mm					
A10	26mm × 37mm	B10	32mm × 45mm					

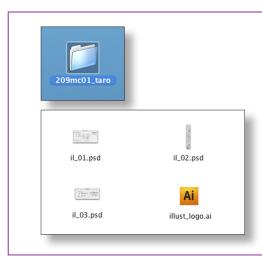
▶ 入稿用のメディア

▲ 大判プリント出力を依頼する際には、以下のメディアでお持ちください。

- CD-R/CD-RW
- ·USB フラッシュメモリ

▶ データについて

▲ 以下の点を確認してください。



- ・フォルダ名に学籍番号と名前を記入すること。
- ・フォルダ/ファイル名がすべて半角英数字になってること。
- ・データがすべて揃い、同じフォルダ内に入っていること。

以上を確認後、メディアセンターカウンターまで 提出してください。

▶ 入稿までの流れ

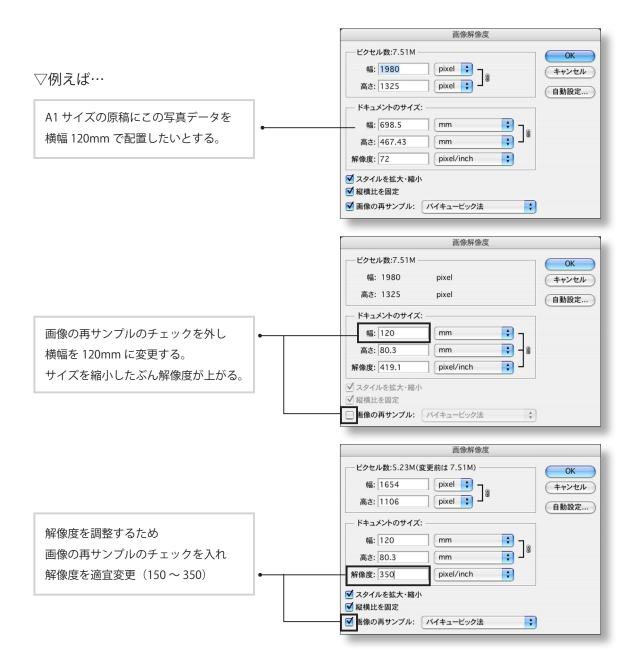
•	素材の準備 作成したイラストや写真など、必要な素材を選別し、各々のフォルダに入れておきましょう。 ・ 建築学科生へ…VectorWorks のデータ変換	P.8~P.10			
•	素材の加工(Photoshop)				
	プリント時の実寸サイズに変更	····· P.4			
	● 適正な解像度に変更				
	レイヤーの統合(透明部分がない場合)	····· P.5			
	● カラーモードを「RGB」から「CMYK」に変更				
	● ファイル名を短く単純な半角英数字に変更				
•	レイアウト (Illustrator)				
	Illustrator で希望の用紙サイズに原稿を設定し、素材やテキストをレイアウトしていきます。				
	● 画像を原稿に配置する	P.7			
•	仕上げ(Illustrator)				
	レイアウトしたデータを入稿して、印刷を依頼するにはルールに沿ったデータ作りが必要です。				
	トリムマークを作成する	····· P.11			
	塗り足しを作る				
	全ての原稿が入るように「アートボード」の大きさを設定する				
	すべてのテキストをアウトライン化する				
	• 線を「塗り」のみの設定にしない	P.13			
•	メディアセンターでの注意事項				
	メディアセンターでは、以下の設定が出来ていないと依頼を受け付けることができません。				
	必ず設定を確かめてください。				
	• Adobe Illustrator のバージョンは <mark>CC2014 以下で保存すること</mark>	····· P.14			
	用紙サイズを超えない範囲で原稿の制作をおこなうこと				
	ゴミデータ(文字の打ち損じや、余分なオブジェクト)が含まれていないこと				
	ファイル名はできるだけ短く単純な半角英数字であること	P.14			
•	申し込み用紙に記入				
	カウンターで「大判プリント申し込み用紙」を受け取り、必要事項に記入をしてください。				
	入稿				

申し込み用紙と入稿用データを持ってカウンタースタッフまで申し込んでください。 メディアセンターのスタッフが入稿用データをチェックし、その後に入稿という流れになります。

▼ 素材の加工 (Photoshop)

▶ 画像解像度の設定

- ▲ Photoshop の機能を使うことで、サイズや解像度(綺麗さを表す値)を自由に変えることが出来ます。しかし、 設定の理屈を理解していないと、荒く印刷されたり、容量が大幅に増え印刷出来ないなどのエラーが起こり ます。必ず下記の設定を守り、印刷に適したデータに変更してください。
 - 1.Photoshop 上で画像のサイズを決める(原則、Illustrator 上では画像のサイズは変更しない)
 - 2. 元のサイズのデータよりサイズ・解像度を拡大することは行わない(縮小は大丈夫)
 - 3. 配置画像の解像度はプリント時の実寸で、150-350dpi ほどが適正。それ以上の解像度は必要ない。



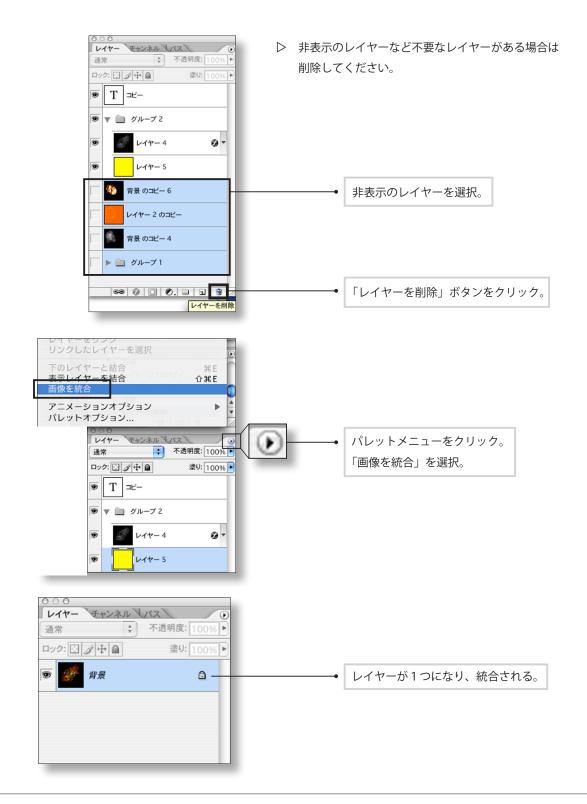
▷ この方法でサイズを合わせ、適正な画像にしてください。

▼ 素材の加工 (Photoshop)

- ▶ レイヤーの統合(画像に影響がでない場合に限る)
 - ▲ Photoshop でテキストレイヤーを使用している素材は、フォントの文字化けを起こす可能性があります。 レイヤーを統合しておきましょう。統合するとファイルサイズも若干軽くなります。

※一度統合すると元に戻りません。統合する前のデータと、統合したデータの2種類を保存しておきましょう。

※統合した際に透明部分が白く塗りつぶされたり、画像に影響がでる場合は統合せずにおきましょう。



▼ 素材の加工 (Photoshop)

▶ カラーモードの変更

▲ RGB モードでも入稿は可能ですが、印刷時にイメージと違った色で出力される可能性があります。 画面上で出ている色と印刷時に出る色の差を埋めるために、なるべくカラーモードを CMYK に変えましょう。



ト 保存の際の設定

▲ 大判プリントを申し込む際、Illustrator の配置画像はできるだけ形式を統一してください。 PSD 形式に保存しておくと、後からの画像編集がスムーズに行えます。



▼ レイアウト (Illustrator)

▶ 画像の配置

▲ 原稿に準備した素材を「配置」する方法を説明します。

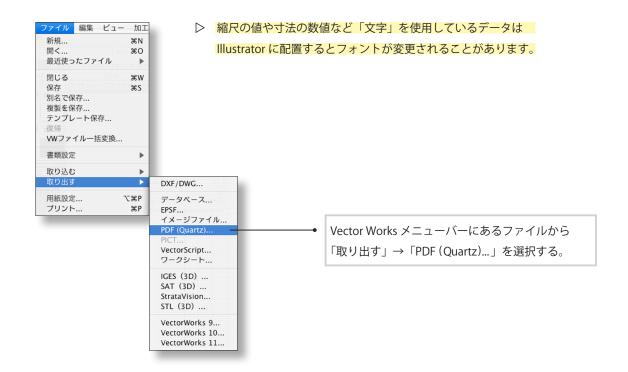


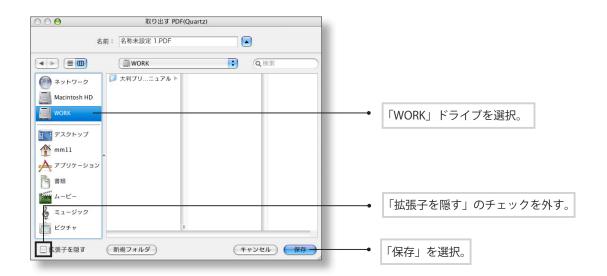
▶ すべて配置できたらメニューバーの「ウィンドウ」→「リンク」で リンクパレットを開き、左図のような「リンク切れ」マークが 表示されていないことを確認しましょう。 表示されていた場合は、もう一度配置し直してください。



▼ 建築学科生(Vector Works)

- ▶ PDF 形式で取り出す <mark>(Macintosh の場合)</mark>
 - ※ 変換する際に精度が落ちることがあります。
 - ▲ Vector Works のデータをそのまま大判印刷することはできません。 下記の方法で図面を取り出し、Illustrator で「配置」してください。

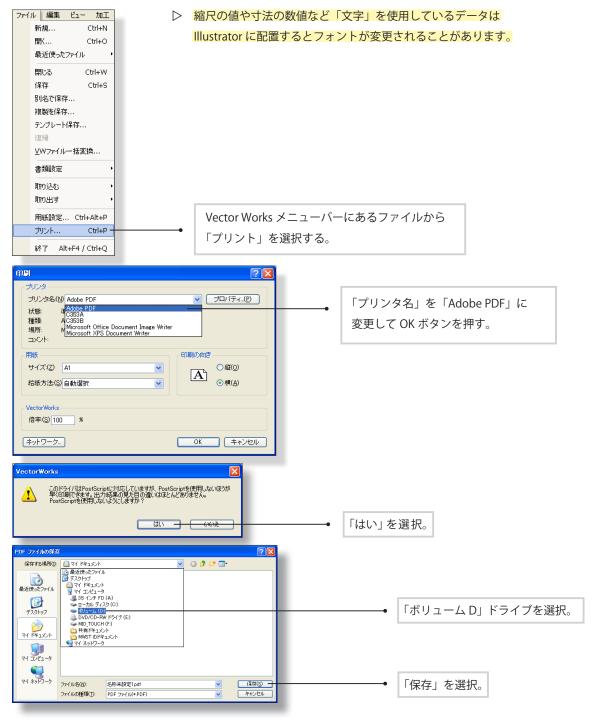




▷ 保存できたら P.07「レイアウト (Illustrator)」に戻り、pdf データを「配置」して下さい。

建築学科生(Vector Works)

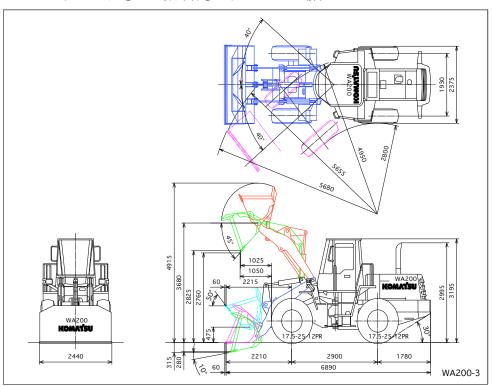
- ▶ PDF 形式で取り出す (Windows の場合)
 - ※ 変換する際に精度が落ちることがあります。
 - ▲ 以下の手順は「Adobe Acrobat Pro」がインストールされている場合のみ可能です。
 - ▲ Vector Works のデータをそのまま大判印刷することはできません。 下記の方法で図面を書き出し、Illustratorで「配置」してください。



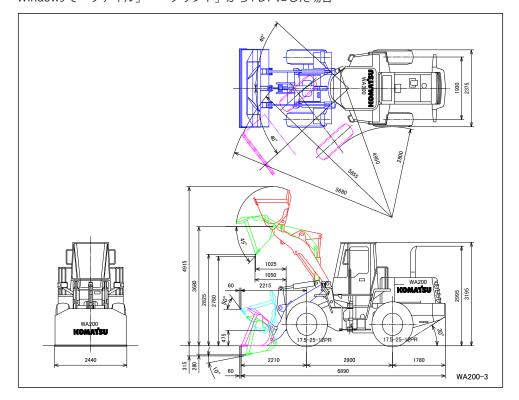
▶ 保存できたら P.07「レイアウト (Illustrator)」に戻り、pdf データを「配置」して下さい。

▼ 建築学科生(Vector Works)

- ▶ Macintosh「取り出し」pdf と Windows プリント pdf の比較
 - ※変換する際に精度が落ちることがあります。
 - ▷ Macintosh で「ファイル」→「取り出す」から PDF にした場合



▷ Windows で「ファイル」→「プリント」から PDF にした場合



▼ 仕上げ(Illustrator)

▶ トリムマークの作成

▲ 仕上がりサイズのトリムマークを作成する方法を説明します。

▶ まず、新しいレイヤーを作っておきます。



CS4以上は、長方形オブジェクトを選択した状態で、メニューバーの「効果」→「トリムマーク」で OK。 そのままの状態でキーボードの「Ctrl (X) + 2」を押して、トリムマークをロックする。

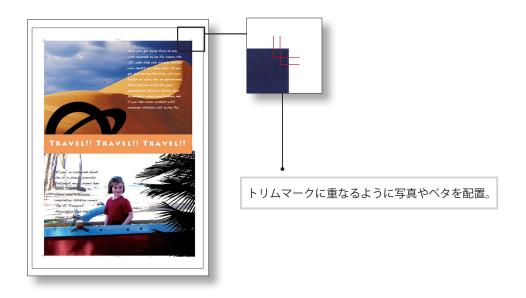
CS3 以下は、メニューバーの「フィルタ」→「クリエイト」→「トリムマーク」で作成されます。 トリムマークを選択した状態でキーボードの「Ctrl (第) + 2」を押して、トリムマークをロックする。

- ▷ トリムマーク完成です。
- ▶ 長方形オブジェクトは削除してもいいですが、「ガイド」として利用すれば仕上がりサイズの目安になります。 オブジェクトを選択して、メニューバーの「表示」→「ガイド」→「ガイドを作成」で「ガイド」になります。 「ガイド」は印刷されないので、レイアウトする際の目安として利用できます。

▼ 仕上げ (Illustrator)

▶ 塗り足し

▲ 写真やベタ (塗り) が仕上がりサイズまでくる場合、紙を断裁する際のズレを考慮して サイズより外側に上下左右 3mm 程度わざとはみ出させます。



アートボードのサイズ

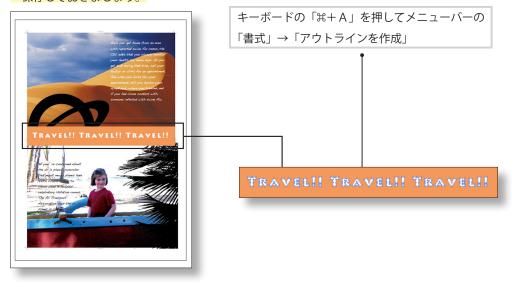
▲ すべての原稿が入るようにアートボードを拡大します。



▼ 仕上げ (Illustrator)

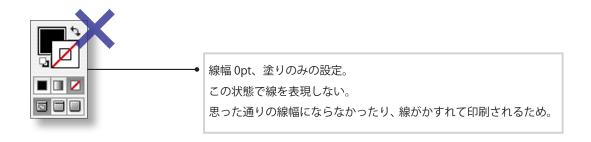
アウトライン化

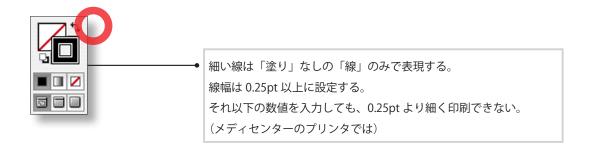
▲ テキストをアウトライン化していないとレイアウトが崩れたり、文字化けをおこしてしまいます。 ※アウトライン化した後は文字修正ができません。アウトライン前のデータと後のデータの2種類を 保存しておきましょう。



▶ 線幅について

▲ 「線幅 Opt」の「塗り」のみの状態で表示されている線は正常に印刷されない場合があります。 線の設定は「線幅 0.25pt 以上」で「塗り」なしにしましょう。





▼ メディアセンターでの注意事項

- ▶ データ保存の注意点
- ▲ メディアセンターの環境では Illustrator CC2014 まで対応しています。
- ▶ データ入稿の注意点
- ▲ もう一度以下の点を確認してください。



- ・フォルダ名に学籍番号と名前を記入すること。
- ・フォルダ/ファイル名がすべて半角英数字になってること。
- ・データがすべて揃い、同じフォルダ内に入っていること。

以上を確認後、メディアセンターカウンターまで 提出してください。